

## 注目の新設校インタビュー

流通経済大学付属柏中学校(認可申請中)

お話 流通経済大学付属柏中学校

校長 赤城 政広 先生



編集部 よろしくお願いたします。流通経済大学付属柏高等学校は1985年に開校し、3年後に40周年を迎えます。このタイミングで中高一貫教育に乗り出すと決めた理由からお願いします。

赤城 現代はグローバル化し、変化が激しい社会です。こうした社会でリーダーシップを発揮して、新しい時代を切り拓く気概を持った人材を育てることが必要だ、という学校法人の想いですね。

編集部 流通経済大学は日本通運(現在のNX)が資金を出して設立した学校法人日通学園の学校ですね。

赤城 母体が世界中にネットワークがある物流企業ですから、世界の企業がどのような人材を求めているか、そのような人材を育成するのに何が 필요한のか、よく知っています。世界の動きを見たとき、このままではいけない、中高一貫教育で、世界で活躍できるリーダーをしっかり育てていこうと考えたわけですね。

編集部 将来、企業経営のトップになるようなリーダーを育てたい、ということでしょうか。

赤城 企業のトップに限るわけではありません。社会が複雑化する中で、多くの人の協力や英知を集めていかないと課題の解決はできません。自分の意見を発信するとともに、周りの意見をくみ上げ、解決策を模索し、周囲の多くの人を巻き込んで実行することで目標を達成する、こうしたリーダーシップは、企業だけでなく、あらゆる場で求められていると思います。

編集部 どのような規模の中学校になるのでしょうか。

赤城 男女共学で1クラス35名の4クラス、1学年は140名で計画しています。

編集部 教育の3本柱を決めていらっしゃるそうですね。

赤城 「未来創造教育」、「グローバルコミュニケーション教育」、「ICT共創教育」、「流経リーダーシップ教育」が3本柱です。

編集部 「グローバルコミュニケーション」からお聞かせください。

赤城 真の国際人となるために、異文化や価値観の多様性について理解を深めながら、国際人としてのグローバル感覚を身に付けます。ですから、世界の公用語である英語の習得に重点を置いて、外国人との意見交換や、自分の意見を英語で主張できる力を育てます。

編集部 英語は授業時間数も多く割り当ててるのですか。

赤城 はい。ネイティブの英会話も含めて週6時間配当しますから、学習指導要領の1.5倍です。中3で全員英検準2級以上の取得が目標です。

編集部 「ICT共創教育」はいかがですか。

赤城 通常、「ICT教育」というと、生徒自身がITリテラシーを身に付けることが目標ですが、本校ではさらに「協働」を生徒の学びにつなげたいと思います。仲間と意見交換したり、知恵を出し合う、パートに分けて協力して1つの作品を創るなど、協働作業を通じて協調性や、仲間を尊重するなどの人間性の成長につなげます。そのため「ICT共創教育」なのです。

編集部 パソコンは何を使うのでしょうか。

赤城 高校生と同じで、クロームブックを1人1台持ちます。現在中学校の新校舎とともに、中高をつなぐ図書・メディア棟「RYUKEI LINKS」を建設して

います。今までの図書館のイメージから離れ、図書だけでなく映像資料も配備します。アクティブラーニングルームもありますから、配備された資料やウェブから集められた資料を総合して様々なプロジェクト学習を行っていきます。

編集部 新校舎には大きな理科実験教室もあるそうですね。

赤城 本校では STEAM(science、technology、engineering、arts、mass)教育にも力を入れます。数学や理科といった、教科ごと、単元ごとといった垣根を超えて、物事の本質を掴んでいきます。理科実験教室も、学習指導要領の実験だけでなく、例えば藍染にも取り組みます。

編集部 藍染ですか。

赤城 校内の一角で藍の栽培を始めています。植物としての藍、染料に加工する工程、染め物技術の原理、そしてデザイン。一言で藍染といいますが、実に多くのことが教科横断で学べます。

編集部 「流经リーダーシップ教育」についてはいかがでしょうか。

赤城 企業トップの育成だけが目標ではありませんが、流通経済大学の教授陣の協力も得て、金融、株式、起業といった内容も、現在の社会科の範疇を超えて学んでいきます。海外研修では、日通のネットワークを生かして、マレーシアやシンガポールなど、現地企業や現地の大学で、企業活動、経済活動だけでなく、異文化の人々とともに働くチームワークや、その中でのリーダーシップを学びます。

編集部 本格的ですね。

赤城 知識としての座学は大切ですが、リーダーシップの育成には、体験を通して思いやりや協力の精神、チームワークを身に付けていくことが何よりも大切だと思っています。そのためには、様々な活動に積極的にチームで取り組んでいきます。

編集部 カリキュラムなどをご紹介ください。

赤城 週6日制で月曜から金曜が50分授業を6時間、土曜日が4時間です。主要教科は学習指導要領の配当時間数よりも授業時間を増やします。

編集部 中学で高校内容の先取りは行うのでしょうか。

赤城 中3の後半で少し行うつもりですが、例えば

中2までに中学3年間の内容をすべて終わらせ、中3の最初から高校内容に入るようなスピードでの先取りは考えていません。多い時間数を活用して、むしろ生徒ひとりひとりの未来を切り拓く「生きる力」をしっかりと育てていきたいと思っています。

編集部 ときには勉強に身が入らず、成績が下がるようなこともあるのではないかと思います。フォローアップはどのような予定ですか。

赤城 基本的には放課後学習ですね。部活動は週3~4日に限定するつもりですから、部活動のない日に行います。



【中学校の新校舎】

編集部 習熟度別の指導についてはいかがでしょうか。

赤城 入学生の様子を見て、必要なら英数を中心に実施しようと思います。

編集部 カリキュラムの進行では、あまり先取りはしないということになると、高校段階では高校入学生と一緒にクラスになるのでしょうか。

赤城 いいえ、中高一貫生は原則として一貫生のみのクラスで高校段階でも授業を進めます。

編集部 高校にはスポーツ進学コースがあって、ラグビーやサッカーなどは強豪として知られています。中学からの入学生が、ぜひ高校ではスポーツ進学コースで頑張りたいと希望すれば、そちらに進学できるのでしょうか。

赤城 相談のうえで、ですね。原則は中高一貫生のクラスですが、道を閉ざすつもりはありません。

編集部 中高一貫生の進路目標はいかがでしょう。

赤城 中学でしっかりした基礎学力を育成しますから、高校内容に入れば徐々にスピードアップも図っていきます。今年、高校の特別進学コースは一橋大

学、大阪大学、千葉大学などの国公立大、慶應義塾大学や早稲田大学などの難関私立大学に現役で合格しています。こうした実績を上回る大学合格実績が出るでしょう。上位四分の一は早慶上理以上、平均レベルなら GMARCH は十分可能だと考えています。

編集部 海外大学はいかがですか。

赤城 コロナなど、今後の状況次第ですが、生徒本人が挑戦するなら十分サポートします。ただ、国内、海外とも大学名先にありきではなく、専攻も含めて、いろいろな大学での学びを研究し、自分でしっかり考えて進路先を考えてほしいと思います。

編集部 中学生の部活動はどのような予定ですか。

赤城 本校には 18 の運動部、14 の文化部が活動しています。中学生も基本的には高校生と一緒にです。ただ、運動系は中体連と高体連で規程の違いや、体力的に高校生と一緒にの練習メニューは無理ですから、できる範囲で一緒に、といった活動になるでしょう。ただし、ラグビー部とサッカー部は全国大会レベルですから、顧問教師と相談してからになります。野球は中学のみ軟式です。文化系は特に中高一緒に問題は無いと思います。

編集部 通学エリアはどのくらいの範囲をお考えですか。

赤城 だいたい1時間くらいでしょう。ただ、そうなると東武アーバンパークライン・武蔵野線なら船橋から埼玉県内まで、つくばエクスプレスなら都内からつくばまでが含まれます。実際、茨城県内からもお問い合わせがありますから、広い範囲から通ってきてもらえると思います。

編集部 入試の予定をお願いします。

赤城 12月1日が第一志望入試、一般入試は4回予定していて、1月22日午前、26日の午前と午後、そして2月4日午前です。第一志望入試は国算と作

文、1月22日と26日午前は国算理社の4教科、26日午後と最終回は国算です。

編集部 どのような入試問題を考えていますか。

赤城 難問や奇をてらうような出題は考えていません。中学入試としてオーソドックスな問題を出题するつもりです。1題くらいは思考力を問うものも出題するかもしれませんが、本校の中学開校を知って中学受験を決めた、といったお問い合わせもありますから、こうした受験生に配慮します。

編集部 第一志望入試では作文がありますね。

赤城 本来は面接を行いたかったのですが、まだコロナ禍がどうなるかわかりません。そこで、受験生が小学校で積極的に取り組んできたことや、中学に入学してから取り組みたいことなどを書いてもらい、学科テストだけでは見られない意欲を見ようと思っています。一般入試は学科テストだけです。

編集部 入試はすべてこちらで行うのですか。

赤城 1月26日は午前午後とも、新松戸駅至近の流通経済大学新松戸キャンパスで行います。他校との併願受験生の交通の便を考えてのことです。それ以外は本校が会場です。

編集部 最後に、受験生・保護者の皆さんにメッセージをお願いします。

赤城 予備校などに頼らない、学校完結型の指導体制で希望大学進学の実現を図ります。そのために学力も精神力もタフに育てていきます。それを前提としたうえで、学校生活は楽しくなければいけません。友だちとのおしゃべりや部活動もありますが、何よりも毎回の授業がワクワクするものでありたい、保護者の方に、楽しさをお子さんご本人が語れる学校でありたいと思っています。こうした学校を、生徒たちと一緒に創っていきたく思います。

編集部 ありがとうございます。

流通経済大学附属柏中学校(認可申請中)

交通アクセス：東武アーバンパークライン江戸川台駅東口より東武バス「みどり台経由柏の葉キャンパス駅行」、つくばエクスプレス柏の葉キャンパス駅西口より東武バス「みどり台経由江戸川台駅行」、それぞれ「流経大柏高校前」下車、通学時は江戸川台駅・柏の葉キャンパス駅よりスクールバス運行

説明会：〔学年不問〕7/9(土)・8/27(土)、〔6年生限定〕10/10(祝・月)、10/29(土)、11/13(日)、11/27(日)、

2023年1/7(土)、オープンスクール：〔学年不問〕7/23(土) いずれも午前10時～ホームページで予約

※説明会等は予定が変更になることがあります。ホームページでご確認ください。